

2016年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	日本語表現法応用 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	村上義明						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解し、レポート作成にふさわしい表現を使用できる。 ・日本語の文法を理解し、大学生にふさわしい表現を正しく使用できる。 ・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表できる。 ・ビジネス敬語を正しく使うことができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を学修する。 						
日程と内容	第一回 (4月12日) あいさつ、シラバス確認、受講の心得、課題1 第二回 (4月19日) 前回のコメントの紹介、課題2、講義 (第1回)、課題3 第三回 (4月23日) 講義 (第1回) 第四回 (4月26日) レジюме (日本語学習プリント) 第五回 (5月10日) 講義、課題4 第六回 (5月17日) 講義 (第2回)、レジюме 第七回 (5月24日) 講義プリントの続き、課題5、6 第八回 (5月31日) 講義 (第3回) 第九回 (6月7日) 課題7、8、講義 (第3回) 第十回 (6月14日) 講義 (第4回)、講義7 第十一回 (6月21日) 課題8、講義 (第5回) 第十二回 (6月28日) 講義 (第6回)、課題9 第十三回 (7月5日) 講義 (第7回) 第十四回 (7月12日) 課題10、講義 (第8、9回) 試験 (7月19日) 試験 第十五回 (7月26日) 試験とその周辺分野に関する解説						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	50%	計	100%			
授業到達目標の達成度	概ね達成できた。						
反省点	もっと多様な課題を用いて、後期は多角的に評価できるようにしたい。						
来年度の計画	現在のところ未定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	評価はおおむね平均的であった。自宅学習時間が短めだったので、この点を改善する。						
履修登録者数	45名	定期試験 受験者数	44名	合格者数	44名	合格率	100%